

平成22年度

# 吉原小だより

京丹後市立吉原小学校 平成22年7月20日 第7号



## 自分から考えられる子どもへ

— 朝のあいさつ運動の中で —



### 3 (スリー) コール運動??

登校班で集まった時に行う3つの挨拶のことです。

「〇〇さん、おはよう。」「忘れ物ない?」そして、登校の時に出会った人にも挨拶。

1学期、児童会を中心に朝の挨拶の取組を続けてきました。初めは小さい声だったけれど少しずつ大きな声に、そして、声をかけられてから挨拶をしていた子どもたちが、自分から挨拶する子どもたちへと変化が生まれてきました。また、チーム遠足を通して一人一人の名前も覚え、「〇〇さん、おはよう。」と名前を入れて挨拶を交わすことで、ちょっと不安な気持ちが明るくなったり、憂鬱な気持ちが和らいだり、挨拶を通して気持ちのよい朝を迎えられるようになっていきます。当たり前が当たり前でできることの素晴らしさです。

また、この取組は、児童会本部・学級委員会が、継続して取り組んだことで広がり定着が見られました。楽しくできるように考え出したキャラクターの活用や3コール運動の工夫など、常に実態を振り返り、改善しようとする姿勢とともに、点検表を作って日々の点検、学級や全校への訴えという責任感のある姿は頼もしく思えました。自分から考え進んで取り組むことができる子どもたちを今後も育てていきます。ご家庭でもご協力お願いいたします。



## さあ夏休み



### 「夏休みの過ごし方」より

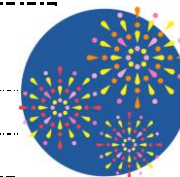
1学期、子どもたちは「チーム遠足」「3コール運動」などの取組を通して自分から進んで取り組もうとする力がつきつつあります。

この1学期に身に付けた力を2学期、更に伸ばしていくためには、夏休みをどう過ごすのが、大変重要になります。本校では、「夏休みの過ごし方について」を配付させていただきました。ご家庭でもご理解いただき、子どもたちへの働きかけをよろしくお願いいたします。

- 安全な生活について (交通規則・自転車の乗り方・不審者への対応など)
- 計画的な生活を送るために (早寝早起き朝ごはん・家の仕事など)
- 健康な生活を送るために (手洗い・歯みがきなど)
- 学習について (計画的な学習・夏だからできる学習・読書など)
- 遊びについて (マナー・挨拶・お店への不要な出入りなど)

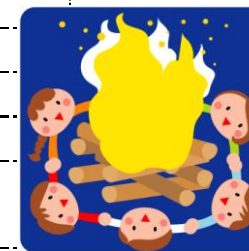


## 夏休み行事予定



22日 (木)	5年生宿泊体験学習
23日 (金)	5年生宿泊体験学習
30日 (金)	飛天準備 (6年生)
8月 5日 (木)	2・3・4・5・6年登校日
13日 (金)	学校業務の休止
20日 (金)	のびっ子・1・2年登校日
22日 (日)	PTA親子作業7:30~ (4年生以上参加)
27日 (金)	5・6年登校日

※ PTA地区懇談会資料とは、学年登校日の日程が変更になっています。確認をお願いします。(担任の出張等で変更させていただきました。)



### 2学期始業式

8月30日 (月) 8時30分~

持ち物

通信簿 (印) 夏休みの宿題

筆記用具 連絡帳 上履きなど

給食の準備 (一日授業があります)

### 夏休み作品展

9月3日 (金) ~ 7日 (火)

場所 吉原小学校 図書室

吉原地区区民運動会

9月19日 (日)

### PTA夏休み自由プール (13:20~15:20)

7月21・23・26・27・28・29・30・8月2・3・4・5・6・9・10・11の15日間

夏休み中の学校プール開放が、PTAにより実施されます。プール監視等お世話になります。よろしくお願いいたします。また、6月23日 (水) には、峰山消防署救急救命士の方を講師に救命講習会を約40名の参加で実施していただきました。万一の場合に備えて心肺蘇生法・AEDなどの実技講習をしていただきました。ありがとうございました。

### ヘルメットの着用 (PTA夏休み自由プールのお知らせより)

「自転車で行かせる場合はヘルメットの着用をお願いします。」これは、PTA夏休み自由プールのお知らせの一文です。本年度のPTAでは、重点目標として「進んでヘルメット、自転車はヘルメット、広げようヘルメットの輪」に取り組んでいます。夏休みは、ヘルメットの着用を進めるよい機会となります。子どもたちが、進んでヘルメットを着用できるように声をかけていただくようお願いいたします。

### 夏休み図書室の本の貸し出し

(10:00~12:00 13:00~16:00)

本の貸し出しをしない日 (土・日曜日 8月13日)

夏休み中も図書室の本を貸し出します。夏休みだからこそ、たくさんの本を読んだり、少し分厚い本・ページ数の多い本・シリーズものにも挑戦したりできます。子どもたちへの声かけ・一緒に取り組む親子読書等よろしくお願いいたします。

